

連結会計財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の評価基準及び評価方法

有形固定資産は原則として取得原価により計上しています。ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

(2) 主な有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）・・・・・・・・定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）・・・・・・・・定額法

(3) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

2 重要な会計方針の変更等

該当なし

3 重要な後発事象

該当なし

4 追加情報

財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

連結財務書類の対象範囲及び連結割合は次のとおりです（全体会計に次の団体を加えます）。

（一部事務組合・広域連合）

- ・ 但馬広域行政事務組合 42.654%
- ・ 北但行政事務組合 67.7652%
- ・ 公立豊岡病院組合 78.8708%
- ・ 兵庫県後期高齢者医療広域連合 1.48%

（地方三公社）

該当なし

(第三セクター等(出資割合50%以上))

- ・ 株式会社日高振興公社 100%
- ・ 株式会社北前館 100%
- ・ 株式会社シルク温泉やまびこ 100%
- ・ 豊岡まちづくり株式会社 100%
- ・ 一般社団法人豊岡観光イノベーション 100%

(第三セクター等(出資割合25%以上~50%未満))

- ・ 農地所有適格法人有限会社あした 100% (市補助金が当該会計に占める割合が多いため)
- ・ アイティ豊岡都市開発株式会社 44.20%
- ・ 一般財団法人但馬地域地場産業振興センター 42.48%

※ 豊岡市土地開発公社は2021年1月22日付で解散したため、対象範囲から外れます。
なお、残余財産については、豊岡市一般会計に帰属しています。